

CDDP+IRI療法

※ショートハイドレーション

神経内分泌癌

対象患者:PS 0-1

CDDP 60mg/m²

IRI 60mg/m²

IRI 60mg/m²

IRI 60mg/m²

〔 day 1 〕

〔 day 8 〕

〔 day 15 〕

4W1クー

	NO	薬品名・規格	投与量	投与速度
Day1	1	生食 500ml KCL 10mEq 硫酸Mg 8mEq		60分
	2	アロキシバッグ 0.75mg 50ml デキサート 9.9mg		15分
	3	生食 250ml イリノテカン	mg	90分
	4	生食 500ml シスプラチン	mg	60分
	5	生食 50ml フロセミド20mg 1A		10分
	6	生食 500ml KCL 10mEq		60分
Day8,15	1	アロキシバッグ 0.75mg 50ml デキサート 6.6mg		15分
	2	生食 250ml イリノテカン	mg	90分
	3	生食 50ml		10分

経口制吐剤

イメンドカプセル(125) 抗癌剤投与60-90分前 Day1

イメンドカプセル(80) 1カプセル 分1(朝) Day2-3

デカドロン錠(4mg) 2錠 分2(朝・昼) Day2-4

CDDP

- 腎障害時は減量基準($45 \leq \text{Ccr} < 60$: 25%減量、 $31 \leq \text{Ccr} < 45$: 50%減量、 $\text{Ccr} < 30$: 中止)を目安にご考慮下さい。
- 化学療法当日は、シスプラチン点滴終了までに1Lの飲水を行ってください。
- 翌日、翌々日は普段の飲食に加えて、500mL～1Lの飲水を行ってください

IRI

- 投与後早期(投与中または投与後1-2日目)に発現する腹痛や下痢に対しては、アトロピン0.5-1Aもしくはブスコパンの混注を考慮して下さい。
- 本治療を行う前にUGT1A1遺伝子の検査を実施して下さい。

★No.1の生食は通常ルートで投与し、No.2以降はケモセーフロックのルートを使用して下さい。また、No.6は側管から投与して下さい。(Day1)